社会福祉法人　恩賜財団
済生会今治病院

診療情報の一元化により、各情報へのアクセスが格段に向上
そして診療情報の網羅により、診療の精度が向上

生理検査科スタッフの皆さん

導入経緯
電子カルテからの部門情報表示に限界を感じた

2017 年の電子カルテ更新を目標に 2015 年から WG を開始しましたが、補助として診療支援システムが必要ではないかとの意見があり、電子カルテに先駆けてまず診療支援システムの選定を行いました。

当時は、電子カルテから操作性の異なる複数の部門システムを起動しないと患者様の診療情報を把握できなかったため、現場の医師から改善要望が挙がっていました。

アストロステージについては、既にいくつかの周辺施設で導入されて評価を得ており、STELLAR についても時系列で患者様の診療情報の概略を一目で確認できる点や、統一された操作性が良かったことから、2016 年に一部先行の形で、内視鏡システムから導入を開始しました。

大手メーカーには無いフットワークの軽さが決め手に

選定ポイントとしては、「他社よりも見やすく視認性や操作性が高かったこと」「クライアントライセンスがフリーであったこと」「価格的にもメリットがあったこと」「以前使用していた文書管理システムから文書の移行が可能であったこと」等がありましたが、導入の決め手となったのは「他社に比べてカスタマイズの自由度が圧倒的に高かったこと」でした。

また、愛媛県にサービス拠点が開設されたことや、将来的な拡張性、適時バージョンアップがあり最新のアプリケーションを使用できることを評価しました。

導入システム

DICOM 画像管理システム	Nazca
RIS システム	Nazca RIS
診療情報統合システム	STELLAR
ドキュメント作成&管理システム	Sophia Report
開封通知システム	for Sophia Report
部門システム	ASTRO Launcher

導入効果
想定以上に部門ごとの壁が無くなった

STELLAR 導入で患者様の診療情報が一元化されたことにより、各情報へのアクセスが格段に良くなり、更に操作性も簡便なことから診断時間の短縮が可能となりました。また診療情報が網羅されていることによってヌケが無くなり、診療の精度も向上したのではないかと思われます。紹介情報の統合もかなりのメリットとなっています。

次に放射線部の現場からの声としまして、放射線部では各診断装置毎に STELLAR を設置しており、患者情報の見やすさがメリットとなり、検査時間の短縮に大きく貢献しています。また、STELLAR 導入と同タイミングで RIS を導入したことから、今まで手作業で行っていた統計や日常点検・ME 機器管理等も簡単に行えるようになりました。放射線部が要望していることに十分対応していただきまして、結果的には欲しい物を全て導入できましたので、非常に満足しています。

放射線科のスタッフの皆さん

導入前の課題 Before

- ■診療情報参照のために、電子カルテから操作性の異なる複数の部門システムを起動していた
- ■部門毎のシステムには壁があり、診療情報のアクセスに不便を感じていた

導入後の効果 After

- ■診療情報の一元化、操作性の統一で診察時間を短縮
- ■診療情報へのアクセスと精度が格段に向上
- ■ RIS 導入により、放射線科の日常業務を省力化

済生会今治病院：システム導入時期 / Oct 2017

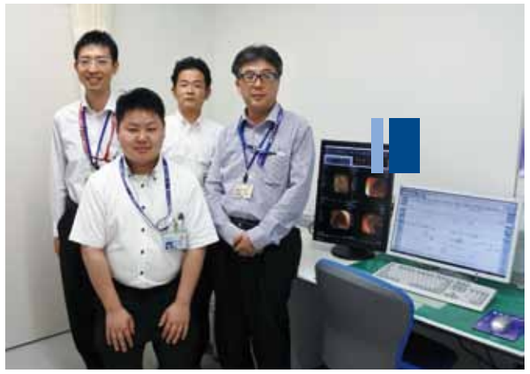
昭和 14 年 1 月に今治市常盤町に今治診療所として開設、その後昭和 22 年 11 月に今治市別宮町に新築移転し、済生会今治病院に昇格、そして昭和 56 年 10 月今治市喜田村に新築移転、現在に至る。

私たちは、済生の精神にもとづき、地域の人々が安心して生活できるよう保健・医療・福祉をささえます。

基本方針

1. 患者さまや家族の皆さまに、やさしく、安全な医療を提供します。
2. 職員一人一人が、専門能力の研鑽に努め、質の高いチーム医療を提供します。
3. 地域中核医療機関として、救急、先進医療、および予防医療の提供に努めます。
4. 地域のがん診療連携拠点病院として、がんの診療を推進します。
5. 地域とのつながりを大切にし、他の医療機関との連携に努めます。
6. 患者さまの立場にたって、情報の開示、信頼される医療をめざします。

所在地：愛媛県今治市喜田村 7-1-6
病床数：191 床
診療科：内科・消化器内科・循環器内科・小児科・外科・消化器外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・泌尿器科・皮膚科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科・病理診断科


システム管理課スタッフの皆さん

今後の期待・要望

アストロステージへの要望としては、文書管理システムの更なる機能アップと分析機能の充実を挙げます。更に AI を活用した画像診断支援機能などの開発にも期待しています。常に新しいことにチャレンジしていこうとする前向きな姿勢を評価していますので、今後も医療者の視点に立った使い勝手の良いシステムの提供を望みます。

今後の方針

当院は地域の中核病院であり、また周辺の地域でも STELLAR を導入されている施設が多数あるので、STELLAR の特徴を生かして、各施設を結んだ地域連携ネットワークの構築が出来ればと考えています。

システム構成図